



JCHOが取り組むべき地医療対策について

独立行政法人 地域医療機能推進機構

医療・地域包括担当理事 亀井 美登里

1. 設立目的

独立行政法人 地域医療機能推進機構（略称 JCHO [ジエイチオー]：Japan Community Health care Organization）は、病院、介護老人保健施設等の運営を行い、救急医療・災害時における医療・へき地医療・周産期医療・小児医療、リハビリテーションその他地域において必要とされる医療機能の確保を図り、もって公衆衛生の向上・増進や住民福祉の増進に寄与することを目的とする

2. 設立時期 平成26年4月1日

3. 施設 病院：57施設 介護老人保健施設：26施設 地域包括支援センター：10施設 看護専門学校：7施設 研修センター：1施設

4. 職員数 約2.8万人

5. 使命

- (1) 地域医療、地域包括ケアの要として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の生活を支えます
- (2) 地域医療の課題の解決・情報発信を通じた全国的な地域医療・介護の向上を図ります
- (3) 地域医療・地域包括ケアの要となる人材を育成し、地域住民への情報発信を強化します
- (4) 独立行政法人として、社会的な説明責任を果たしつつ、透明性が高く、財政的に自立した運営を行います

6. JCHOホームページ www.jcho.go.jp



独立行政法人 地域医療機能推進機構(JCHO)の病院

上段：(旧病院名)
下段：新病院名 ※

※正式名称には新病院名の前に
「独立行政法人地域医療機能推進機構」が付く

- (九州厚生年金病院)
九州病院
- (社会保険久留米第一病院)
久留米総合病院
- (健康保険直方中央病院)
福岡ゆたか中央病院
- (佐賀社会保険病院)
佐賀中部病院
- (社会保険浦之崎病院)
伊万里松浦病院
- (健康保険諫早総合病院)
諫早総合病院
- (健康保険熊本総合病院)
熊本総合病院
- (健康保険人吉総合病院)
人吉医療センター
- (健康保険天草中央総合病院)
天草中央総合病院
- (健康保険南海病院)
南海医療センター
- (湯布院厚生年金病院)
湯布院病院
- (社会保険宮崎江南病院)
宮崎江南病院

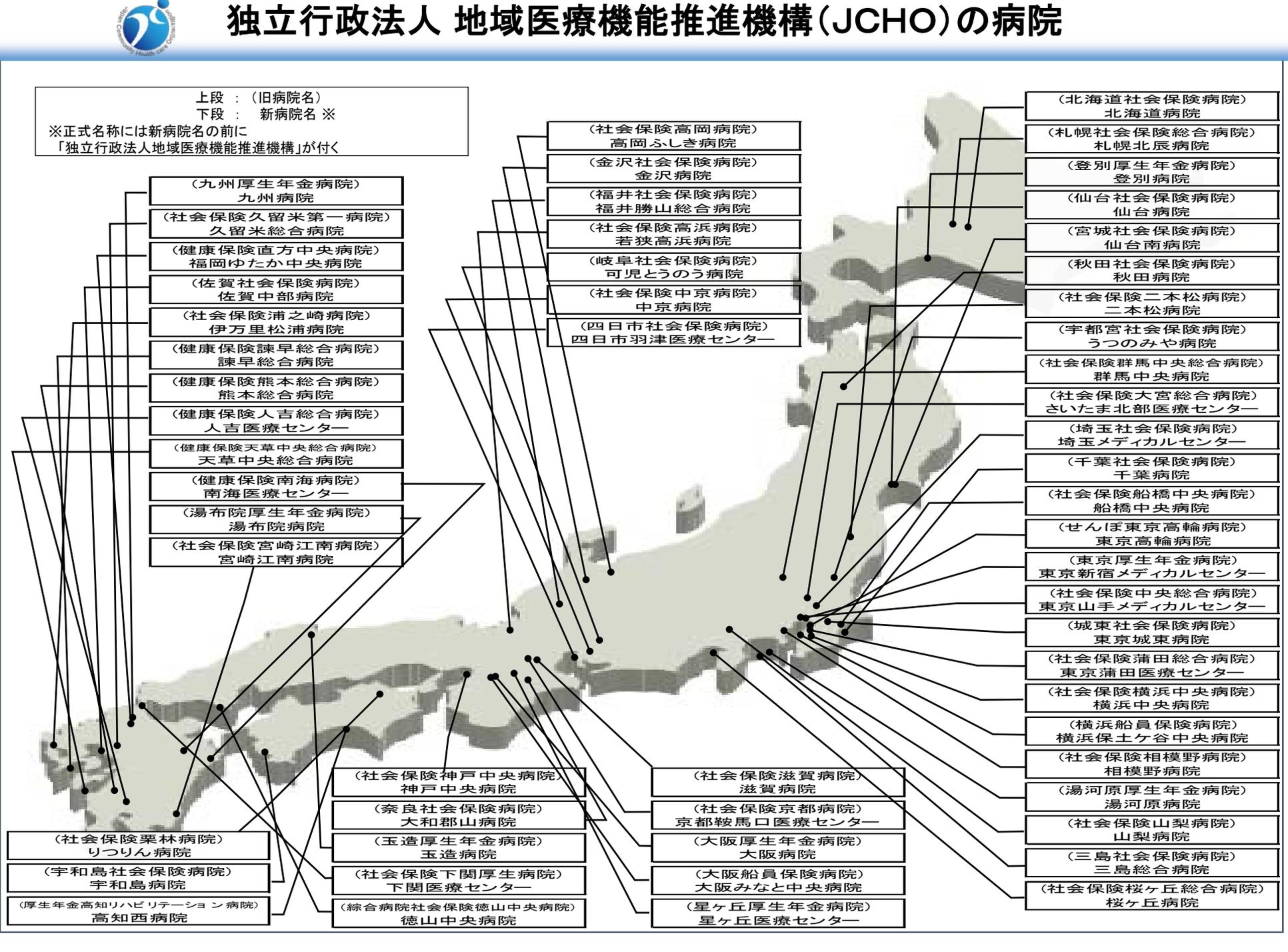
- (社会保険高岡病院)
高岡ふしき病院
- (金沢社会保険病院)
金沢病院
- (福井社会保険病院)
福井勝山総合病院
- (社会保険高浜病院)
若狭高浜病院
- (岐阜社会保険病院)
可児とうのう病院
- (社会保険中京病院)
中京病院
- (四日市社会保険病院)
四日市羽津医療センター

- (北海道社会保険病院)
北海道病院
- (札幌社会保険総合病院)
札幌北辰病院
- (登別厚生年金病院)
登別病院
- (仙台社会保険病院)
仙台病院
- (宮城社会保険病院)
仙台南病院
- (秋田社会保険病院)
秋田病院
- (社会保険二本松病院)
二本松病院
- (宇都宮社会保険病院)
うつのみや病院
- (社会保険群馬中央総合病院)
群馬中央病院
- (社会保険大宮総合病院)
さいたま北部医療センター
- (埼玉社会保険病院)
埼玉メディカルセンター
- (千葉社会保険病院)
千葉病院
- (社会保険船橋中央病院)
船橋中央病院
- (せんぽ東京高輪病院)
東京高輪病院
- (東京厚生年金病院)
東京新宿メディカルセンター
- (社会保険中央総合病院)
東京山手メディカルセンター
- (城東社会保険病院)
東京城東病院
- (社会保険蒲田総合病院)
東京蒲田医療センター
- (社会保険横浜中央病院)
横浜中央病院
- (横浜船員保険病院)
横浜保土ヶ谷中央病院
- (社会保険相模野病院)
相模野病院
- (湯河原厚生年金病院)
湯河原病院
- (社会保険山梨病院)
山梨病院
- (三島社会保険病院)
三島総合病院
- (社会保険桜ヶ丘総合病院)
桜ヶ丘病院

- (社会保険栗林病院)
りつりん病院
- (宇和島社会保険病院)
宇和島病院
- (厚生年金高知リハビリテーション病院)
高知西病院

- (社会保険神戸中央病院)
神戸中央病院
- (奈良社会保険病院)
大和郡山病院
- (玉造厚生年金病院)
玉造病院
- (社会保険下関厚生病院)
下関医療センター
- (総合病院社会保険徳山中央病院)
徳山中央病院

- (社会保険滋賀病院)
滋賀病院
- (社会保険京都病院)
京都鞍馬口医療センター
- (大阪厚生年金病院)
大阪病院
- (大阪船員保険病院)
大阪みなと中央病院
- (星ヶ丘厚生年金病院)
星ヶ丘医療センター





地域医療機構の中期目標(抜粋)

第1 国民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

地域医療機構は、病院群の地域的かつ機能的な多様性の強みを活かし、5疾病5事業、リハビリテーション、在宅医療、その他地域において必要とされる医療及び介護について、地域医療機構が有する全国ネットワークを活用しつつ医療等の確保と質の向上を図ることを目指す。(以下略)



5事業

救急医療 災害医療 へき地医療
周産期医療 小児医療



地域医療機構の中期目標(抜粋)

へき地医療

各病院等における取組み

へき地医療拠点病院の指定又はへき地診療の支援として巡回診療等に従事していること。

機構全体としての取組み

へき地を含む医師不足地域への支援について、全国的なネットワークを活かして協力を行う。

また、へき地医療従事者に対する研修を開催するとともに、遠隔医療の支援に積極的に参加する。

1. へき地医療拠点病院
2. へき地診療所等の指定管理
3. へき地診療所への支援例
(長期派遣、専門医派遣、代診)
4. 医師不足地域への支援例
(公的医療機関等)
5. 被災地の支援に関して



1 へき地医療拠点病院

りつりん病院

(香川県 平成15年4月～)

九州病院

(福岡県 平成18年4月～)

南海医療センター

(大分県 平成15年4月～)

* 個別の支援例に関しては後述



2 へき地診療所等の指定管理

伊万里松浦病院 （佐賀県 平成23年10月～）

過疎地である隣県の松浦市立中央診療所の指定管理者としてへき地医療の支援を行っている。

人吉医療センター （熊本県 平成23年 4月～）

医療過疎となっている球磨郡五木村から村立診療所（へき地診療所）の指定管理者として運営の委託をされている。



3-1 へき地診療所への支援例

～長期の派遣例～

東京新宿病院・東京山手病院

新島村国保本村診療所(へき地診療所)へ

診療医1名を派遣

機構として1年契約。一人当たり3～6か月の期間を想定。



3-2 へき地診療所への支援例

～定期的な専門医の派遣例 その1～

玉造病院

海士町国保海士診療所(へき地診療所)へ診療支援
(整形外科 月1回)

徳山中央病院

周南市大津島診療所(へき地診療所)へ診療支援
(内科系 週2回、外科系 週1回)

りつりん病院(へき地医療拠点病院)

小豆島町内海病院(へき地診療所)へ診療支援
(整形外科 隔週1回)



3-2 へき地診療所への支援例

～定期的な専門医の派遣例 その2～

九州病院（へき地医療拠点病院）

新宮町相島診療所（へき地診療所）へ診療支援
（内科 隔週1回）

熊本総合病院

国保吉尾温泉診療所（へき地診療所）へ診療支援
（総合診療 隔週1回）



4 医師不足地域への支援例 その1

北海道病院

市立稚内病院に週2回診療支援(循環器内科)

倶知安厚生病院に週3回診療支援(循環器内科)

* 北海道緊急医師確保事業による

秋田病院

湖東総合病院に週1回診療支援(消化器内科)

能代山本医師会病院に月2回診療支援(整形外科)

* 各病院の要請による



4 医師不足地域への支援例 その2

可児とうのう病院

国保坂下病院へ週1回診療支援(泌尿器科)

中濃厚生病院へ週1回診療支援(麻酔科)

* 各病院の要請による

天草中央総合病院

天草市立牛深市民病院に週1日診療支援

(産婦人科)

天草郡市医師会立苓北医師会病院に週2回診療支援

(小児科)

* 各病院の要請による(地域の産婦人科の集約化も影響)

5 被災地への支援に関して

1. 浪江町国保仮設津島診療所に週一回月曜日診療支援

平成26年4～9月 うつのみや病院を中心に支援

10月以降は東北・関東の病院も支援に加わる。

(仙台病院・仙台南病院・二本松病院・埼玉メディカルセンター・東京新宿病院・東京高輪病院・東京蒲田病院 等)

2. 浪江町仮設住宅を中心としたリハビリ指導・栄養指導

(腰痛・膝痛予防等の体操及び栄養講話)

平成26年4～9月 二本松病院より医療従事者を派遣し

指導の体制を構築した。(10月以降は浪江町の職員で実施)

実施場所: 杉田住民センター仮設、杉内仮設住宅、

大平仮設住宅、永田仮設住宅

それぞれ一週間毎に4回ずつ。計16回

3. 県外避難者に対する支援も含め、浪江町と包括的連携協定を締結

5月7日浪江町役場にて調印式を行った。

(浪江町馬場町長と尾身理事長)